

原水禁実行委の結成を

都平連 軍縮ゼミナールで呼びかけ

去る五月三・四日両日に渡って平和・軍縮ゼミナールを開催した都平連は五日平和と軍縮をめざす全国連絡会主催五・五平和集会に於て各学園で原水爆禁止実行委員会の結成を呼びかけた。

米レーガンの登場によって米帝主義を先頭とする新核戦略の実質は急激に進みつつある。MXミサイル・トライデント型原潜の兵器の製造・配備策動も拒否し、新核戦略を阻止してゆく必要が重大な課題となっている。

NATO本部へのイースターデモ、米欧ベンタゴンに対するデモ等、世界各地でソフィア・アビールに基づいた運動が八二年連軍縮特別総会に向けて展開されている。一方、日本に於ても、改憲策動を頂点とした軍国主義強化が推し進められ中期業務見直し計画が、くり上げ達成されようとしており、その中で福祉は切り捨てられ、被爆者援護法も制定がやぶまれ、この大阪砲兵工廠本館について「旧砲兵工廠本館を保存する会」(平和を願う民衆の会)等により

砲兵工廠本館 取り壊し糾弾

大阪



五月二日、大阪市当局は、大阪砲兵工廠本館の取り壊し作業を敢行した。この大阪砲兵工廠本館について「旧砲兵工廠本館を保存する会」(平和を願う民衆の会)等により

五月二日、大阪市当局は、大阪砲兵工廠本館の取り壊し作業を敢行した。この大阪砲兵工廠本館について「旧砲兵工廠本館を保存する会」(平和を願う民衆の会)等により

5・24 平和学校を 成功させよう

府めざす会主催



五月四日平和と軍縮をめざす大阪府学生連絡会主催で平和学校が開校される。平和学校では山口敏弘氏(独協大教授)を講師に迎え「有事立法研究」中間報告を中心に最近の改憲策動について学習する。

五月五日大阪の八尾自衛隊基地と去る二日急遽取り壊されたとされる「有事法制研究」を筆頭に強められている。平和学校はこうした情勢の下、学生と憲法との関わりをおさえ五月憲法月間の各学園の取り組みを集約した形で開催される予定であり、多くの学友の参加を呼びかけている。

学生解放研活動を 発展させよう

東京学生部解放講座成功

去る、五月三日・四日と東洋大において東京学生部解放講座が開催された。

今日、部落解放運動を巡る情勢がきわめてきびしい局面を向えている中で、東洋大解放研をはじめ東京理科大学、明治学院大解放研、その他を中心とした学生解放研のメンバーや各大学の学友などのべ一五〇名の参加で成功した。

新歓期、新入生の多くは多様な問題意識を持っており、又、各大学での差別事件の続発に見られるように差別意識が充満されている中で、開講している各大学の解放研の新歓運動の中間集約としてあった。

又、四日の大講座では「差別と人権の歴史」の上映を行い、映像を通じて部落問題を学んだ。その後、講演会では、部落差別の歴史から今日の情勢を含め、「部落解放運動入門」として行なわれ、とりわけ

私学助成条例 成定の闘い

京都

四月三日京都府私学教職員組合連合会が中心となって京都府議会に提出していた「私学助成条例」制定の直接請求が否決された。

京都府私学連が提出した条例案は「教育の機会均等の原則に基づき、府下の私立学校に対し助成を、五八年度までの三カ年計画で府下私立学校の経費総額の内、二分の一を補助する」という内容。

府下の私学は幼稚園から高校まで非常に多く、特に高校の生徒数が全体の42%を占めており、教育費も公立の七倍が実態。私学助成について政府は、年私学助成振興法により「私学経費の二分の一を国庫補助する」ことを決めている。しかし私立大学については、五八年度までの三カ年計画で、しかも府は「主要経費についてはほぼ、分の一(国庫補助を達成した)と助成の大巾カットをねらっている。

には「保存する会」(民衆の会)による抗議集会が開催され、労働日育の採用基準に入っている人者・市民・学生の多数の参加で成功している。

また、市当局のこのような行為に対する抗議ハガキ運動も広範に展開されている。

学園レポート



阪市大 奨学金闘争前進

市大においては、日育一年次内示枠210(学生数の約10%)、国立30%、私学5%に対しては要求者は五〇〇名も存在し、内日育の採用基準に入っている人者・市民・学生の多数の参加で成功している。

また、市当局のこのような行為に対する抗議ハガキ運動も広範に展開されている。

五月九日、女性差別撤廃条約の早期批准をめざす大阪府民会議の結成総会がわなれた。

この会議には、大阪府民会議、労働連、労働団体、日本婦人会議、婦人民主クラブ、大阪府婦人協会の婦人団体、更に部落解放同盟等が加盟しており、このように、この組織は全国で初めてである。

総会では、結成までの「女性差別撤廃条約」の取り組み、啓発活動、女性差別を解消し、女も男も、そして愛する子とともたに安心して暮らせる世の中を実現するたため努力することを誓う」と総会宣言を確認した。

国際的な女性解放運動と連帯し、運動の統一を進める大きな一歩がふまれたわけである。

東理大 オールナイト ハイイクに新入生参加

五月九日、二十三日、日比谷公園は、七〇〇名・三〇〇名近い学友たちによってうめられた。これは、東京理科大学新歓実行委員会主催のオールナイトハイイクと、東洋大五月祭実行委員会主催のオールナイトハイイクとの深夜の交流会である。

東理大新歓実行委員会の主催する、山の手線一周オールナイトハイイクは、これで四回目。年々大規模になって成功している。今年は三月から、全都に共同開催を申し込み、連絡を取り合い、共同の実行委員会を開催した。そのもとに交流の時間、場所、合流のやり方を練っていた。

当日、東理大の主催するハイイクに参加する学友は、代々木公園、六時に、三〇〇名以上が集まった。グループに分かれて、次々と交流の地点へと出発していった。

東洋大は、白山校舎に五〇〇名近い学友が参加し、二二時に、出発。日比谷公園を目指した。

交流会の後、それぞれが、山の手線一周の歩道をめざして、別れをおしめながら、歩き始めた。参加したほとんどの学友は、目的を達成した。

去る、五月三日・四日と東洋大において東京学生部解放講座が開催された。

今日、部落解放運動を巡る情勢がきわめてきびしい局面を向えている中で、東洋大解放研をはじめ東京理科大学、明治学院大解放研、その他を中心とした学生解放研のメンバーや各大学の学友などのべ一五〇名の参加で成功した。

新歓期、新入生の多くは多様な問題意識を持っており、又、各大学での差別事件の続発に見られるように差別意識が充満されている中で、開講している各大学の解放研の新歓運動の中間集約としてあった。

又、四日の大講座では「差別と人権の歴史」の上映を行い、映像を通じて部落問題を学んだ。その後、講演会では、部落差別の歴史から今日の情勢を含め、「部落解放運動入門」として行なわれ、とりわけ

去る、五月三日・四日と東洋大において東京学生部解放講座が開催された。

今日、部落解放運動を巡る情勢がきわめてきびしい局面を向えている中で、東洋大解放研をはじめ東京理科大学、明治学院大解放研、その他を中心とした学生解放研のメンバーや各大学の学友などのべ一五〇名の参加で成功した。

千葉県合同新歓 4.29合同ピクニック成功

四月二九日、千葉県合同新歓風景

四月二九日、千葉県野田市清水公園において千葉県学生合同新歓行事の一環として合同ピクニックが開催された。

快晴の中、千葉県下大学を中心とする多くの新しき仲間が参加した。「楽しい一日をありがとう」「新しい友をみつけた」「疲れの中にも満足感」「また会おう」一寄せ書きからの抜粋。これらの言葉の一つ一つが、胸ふくらませ大学へ飛び込んできた新しい学友達の青春の一コマを物語っている。

本年度二年目を迎える千葉県下大学の合同新歓行事だが、その輪は年々、加速度的に広がっている。全国で、地域大学の横のつながりが益々薄れている中にある、この取り組みの意義は一層大きくなってきている。

展示、映画会もできない」等々の大学も珍しくなくなっており、そのような境界性を全国二五〇万学友が固く手を結び合い、保障し、活動における現状での境界性を相互に補完していく保障とすること



去る、五月三日・四日と東洋大において東京学生部解放講座が開催された。

今日、部落解放運動を巡る情勢がきわめてきびしい局面を向えている中で、東洋大解放研をはじめ東京理科大学、明治学院大解放研、その他を中心とした学生解放研のメンバーや各大学の学友などのべ一五〇名の参加で成功した。